

参考文献

Baudoin, R., Bezanson, M. L., Borgen, W., Goyer, L., Hiebert, B., Lalande, V., Magnusson, K., Michaud, G., Renald, C., & Turcotte, M. (2007). Demonstrating value: A draft framework for evaluating the effectiveness of career development interventions. *Canadian Journal of Counselling, 41*, 146-157.

Crandall, B., Klein, G. and Hoffman, R.R.(2006). *Working Minds: a practitioner's guide to cognitive task analysis*. Cambridge, MA: MIT Press.

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 (2010). 職業相談の改善を目的とした地方研修プログラム・教材の開発と効果 JILPT 資料シリーズ, **69**.

厚生労働省 (2011). ハローワークサービス憲章
<<http://www.mhlw.go.jp/bunya/koyou/charter.html>> (2012年3月14日)

西村公子・榎野潤 (2009). 職業相談における対応困難場面の分析 ディスカッションペーパー, **09-01**.

高橋美保 (2008). 公共職業安定所職員の精神的健康と一般職業紹介の業務ストレスについて 日本労働研究雑誌, **576**.

職業相談技法研修プログラムの開発研究のためのアンケートにご協力ください。

職業相談で困ったことを教えてください。

お願い 労働大学キャリアガイダンス部門では、厚生労働省職業安定局と連携を取りながら、職業相談技法研修プログラムの開発研究に取り組んでいます。研修プログラムでは、ハローワークの職業相談の中で職員の皆様がよく経験される、対応に困った場面を取り上げ、その対応等を学ぶ内容としたいと考えています。そのため、職業相談の窓口や、求人者との連絡場面であなただが困った場面、その対応、その時の対応に関する情報を収集しています。提出頂いた情報は、研修プログラムの開発研究のみを使用するとともに、個人名などプログラムに関わることを外部に漏らすようなことは一切ありません。ハローワークの職業相談に実践的に役に立つ研修プログラムの開発研究のため、回卒、ご協力をお願いします。

Q1. これまで職業相談の窓口業務を担当された経験がありますか？ 当てはまる番号に○をしてください。

1. はい 2. いいえ

Q2. あなたが職業相談の窓口で、求職者が言ったり、したりしたことや、求人者への連絡場面で、その対応に困ったり、どう対応すればいいのかわからなくなった場面を思い出してください。その場面は、あなた自身が言ったり、したりしたことがきっかけとなった場合も含めます。これまで職業相談の窓口業務を担当された経験のない方は、職業相談業務以外でも結構ですから、求職者と接した経験や、求人者に連絡した経験をもとに思い出してください。

Q2-1. あなたが思い浮かぶ限り、その場面について具体的に記入ください。(場面はいくつでも構いません。)

Q2-2. その場ごとに、あなたが対応に困難であると感じたところについて具体的に記入ください。

Q2-3. その場ごとに、あなたがその困難場面に對し、実際にどのような対応されたのか、具体的に記入ください。

例	Q2-1. あなたが対応に困った場面	Q2-2. あなたが対応に困ったところ	Q2-3. あなたの対応
①	求職者は、25万円以上の賞金にこだわり過ぎて、求人先の会社で求められている仕事ができるかどうか等の他のことに目がいかず応募不採用をくり返しているが、その点を指摘しても、「紹介して欲しい」の一点張りであった	賞金以外のことも検討して頂きたいと思い、仕事の内容について説明したが、賞金第一の考えは変わらなかった。現実的な求人選択をして欲しいが、どうしたらよいかわからなかった	最後までこちらの言い分を聞いて頂けなかった。現実的な求人とは思えなかったが、求人者に連絡を取り、面談の日時を決め、紹介状を出さざるを得なかった
②			

画面に続く➡

	Q2-1. あなたが対応に困った場面	Q2-2. あなたが対応に困ったところ	Q2-3. あなたの対応
③			
④			
⑤			
⑥			

※教室に回収箱を置いておきますので、研修の最終日までに回収箱に投函をお願いします。

ご協力ありがとうございました。

職業相談における 困難場面についてのアンケート

日本労働政策研究・研修機構 労働大学校

＜アンケート協力をお願い＞

労働大学校キャリアガイダンス部門では、厚生労働省職業安定局と連携を取りながら、職業相談技法研修プログラムの開発研究に取り組んでいます。

研修プログラムでは、ハローワークの職業相談の中で、職員の皆様がよく経験される、対応に困った場面を取り上げ、その対応等を学ぶ内容としたいと考えています。そのため、職員の皆様に、「職業相談における困難場面についてのアンケート」を実施することになりました。

職員の皆様が、職業相談の窓口や、求人者との連絡などで困った場面に、どのくらいの頻度で遭遇されているのか、そして、その対応について、どのくらい困難さを感じておられるのか、といったことをお聞かせいただき、研修プログラムの開発の基礎資料にさせていただきます。

提供頂いた情報は、研修プログラムの開発研究のみに使用するとともに、個人名などプライバシーに関わることを外部に漏らすようなことは一切ありません。

お忙しい中を大変、恐縮でございますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、何卒、ご協力をお願いします。

＜回答上の注意＞

1. 回答は質問に応じて、選択肢の番号に○をつけるか空欄に数字をご記入ください。
2. 研修の最終日までに、記入の終わったアンケート票を回収箱に投函してください。
3. アンケート票の記入にあたり、不明な点がございましたら、お手数ですが下記の連絡先にお問い合わせください。

【連絡先】

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 労働大学校
キャリアガイダンス部門 西村公子、榎野（かやの）潤

〒351-0023 埼玉県朝霞市溝沼 1983 番地の 2

電話：(048)463-1581(内線番号 513)

FAX (048)463-1375

E-mail：jkaya@jll.go.jp

Q1. あなた自身についてお聞きします。

1 性別について教えてください。

1. 男性 2. 女性

2 年齢について教えてください。

1. 10代 2. 20代 3. 30代
4. 40代 5. 50代 6. 60代

3 現在、職業相談業務（高齢者、障害者を含む）を担当されていますか。

1. はい 2. いいえ

4 平成 20 年 9 月 1 日現在における、職業相談業務の通算年数は何年ですか。
経験がない場合、0年0ヵ月*とご記入ください。

約 年 ヵ月

※ 0年0ヵ月と回答された方はQ2については、
お答えいただく必要はありません。Q3について
のみ、あなたの感覚でお答えください。

Q2. あなたは相談業務で次のような場面がどのくらいの頻度で起こりましたか。

その頻度について、1～4のうち、当てはまる番号に一つ〇をつけてください。

この場合の頻度は、特定のある決まった人についてよく起こることは除外して考えて下さい。

- | | 起
こ
ら
な
い | ま
っ
た
く
起
こ
ら
な
い | 起
こ
ら
な
い | ほ
と
ん
ど
起
こ
ら
な
い | 起
こ
る | と
き
ど
き
起
こ
る | よ
く
起
こ
る |
|---|-----------------------|---|-----------------------|---|-------------|---------------------------------|-----------------------|
| (1) 求職者の希望する労働条件(就業時間、賃金等)が求人の実情にあわない。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (2) 求職者からハローワークの職員の対応について苦情を言われる。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (3) 求職者から求人企業の対応の悪さについて苦情を言われる。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (4) 求職者がどんな仕事をしたらいいのか分からない。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (5) 求職者が、不適切と思われる内容の問い合わせを求人企業にするように、…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| 職員に求める。 | | | | | | | |
| (6) 就職困難度が高いと思われる求職者から、経済的問題のため、すぐに就職…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| できる企業への紹介を求められる。 | | | | | | | |
| (7) 特定の経験を必要とする求人に対して、経験のない求職者が応募を希望する。…… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (8) 求人では求められる資格を持っていない求職者が応募を希望する。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (9) 求職者が賃金など特定の条件にこだわり、そのほかの求人内容を考慮できない。… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (10) 職員が求人先に問い合わせると年齢もしくは性別を理由に相談中の…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| 求職者の応募を拒否する。 | | | | | | | |
| (11) 求職者から求人票の内容及び求人管理情報登録内容以外のことを詳しく聞かれる。1 | 2 | 3 | 4 | | | | |
| (12) 求人の学歴要件に達しない求職者が応募を希望する。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (13) 求職者がハローワークの支援を超えている問題を相談してくる。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (14) 求職者から求人等の内容が実際と違うと苦情を言われる。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (15) 求職者に働く意思が見られない。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (16) 高齢求職者の希望に応えるような適当な求人がない。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (17) 問題のある求人企業の状況について、求職者に対する伝え方がわからない。…… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (18) 求職者に質問をしても何も答えてくれない。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (19) 求職者が応募を希望した求人を紹介しても面接に行かない。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (20) 求職者が優先順位をつけないで同時に複数の求人全てに応募を希望する。…… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (21) 求職者が希望する求人と関係のない職種の職業訓練を希望する。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (22) 求職者が、制度や雇用情勢などの話ばかりをして、自分の求職…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| 活動へ話が進まない。 | | | | | | | |
| (23) 求人先への面接に臨むにあたって求職者の身だしなみや態度が適切でない。…… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (24) 求職者が多数の求人を検索してくるが、それらを絞ることができない。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |
| (25) 高齢求職者が、年齢不問求人に対する不信感や苦情を職員にぶつける。…………… | 1 | 2 | 3 | 4 | | | |

Q3. あなたは相談の窓口で次のような場面への対応について、どのくらい困難さを

感じますか。その困難さについて、1～4のうち、当てはまる番号に一つ〇をつけてください。

	困 難 で な い	ま っ た く 困 難 で な い	あ ま り 困 難 で な い	や や 困 難 だ	と と も 困 難 だ
(1) 求職者の希望する労働条件(就業時間、賃金等)が求人の実情にあわない。……………	1	2	3	4	
(2) 求職者からハローワークの職員の対応について苦情を言われる。……………	1	2	3	4	
(3) 求職者から求人企業の対応の悪さについて苦情を言われる。……………	1	2	3	4	
(4) 求職者がどんな仕事をしたらいいかわからない。……………	1	2	3	4	
(5) 求職者が、不適切と思われる内容の問い合わせを求人企業にするように、……………	1	2	3	4	
職員に求める。					
(6) 就職困難度が高いと思われる求職者から、経済的問題のため、すぐに就職……………	1	2	3	4	
できる企業への紹介を求められる。					
(7) 特定の経験を必要とする求人に対して、経験のない求職者が応募を希望する。……	1	2	3	4	
(8) 求人で求められる資格を持っていない求職者が応募を希望する。……………	1	2	3	4	
(9) 求職者が賃金など特定の条件にこだわり、そのほかの求人内容を考慮できない。…	1	2	3	4	
(10) 職員が求人先に問い合わせると年齢もしくは性別を理由に相談中の……………	1	2	3	4	
求職者の応募を拒否する。					
(11) 求職者から求人票の内容及び求人管理情報登録内容以外のことを詳しく聞かれる。1	1	2	3	4	
(12) 求人の学歴要件に達しない求職者が応募を希望する。……………	1	2	3	4	
(13) 求職者がハローワークの支援を超えている問題を相談してくる。……………	1	2	3	4	
(14) 求職者から求人等の内容が実際と違うと苦情を言われる。……………	1	2	3	4	
(15) 求職者に働く意思が見られない。……………	1	2	3	4	
(16) 高齢求職者の希望に応えるような適当な求人がない。……………	1	2	3	4	
(17) 問題のある求人企業の状況について、求職者に対する伝え方がわからない。……	1	2	3	4	
(18) 求職者に質問をしても何も答えてくれない。……………	1	2	3	4	
(19) 求職者が応募を希望した求人を紹介しても面接に行かない。……………	1	2	3	4	
(20) 求職者が優先順位をつけないで同時に複数の求人全てに応募を希望する。……	1	2	3	4	
(21) 求職者が希望する求人と関係のない職種の職業訓練を希望する。……………	1	2	3	4	
(22) 求職者が、制度や雇用情勢などの話ばかりをして、自分の求職……………	1	2	3	4	
活動へ話が進まない。					
(23) 求人先への面接に臨むにあたって求職者の身だしなみや態度が適切でない。……	1	2	3	4	
(24) 求職者が多数の求人を検索してくるが、それらを絞ることができない。……………	1	2	3	4	
(25) 高齢求職者が、年齢不問求人に対する不信感や苦情を職員にぶつける。……………	1	2	3	4	

ご協力ありがとうございました

職業相談の困難場面における 対応方法についての調査

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 労働大学校
キャリアガイダンス部門

<調査協力のお願ひ>

労働大学校キャリアガイダンス部門では、厚生労働省職業安定局と連携を取りながら、職業相談技法の研修プログラム等の開発研究を推進しているところです。

当該研究においては、ハローワークの職業相談における求職者への対応が難しい場面（以下「困難場面」という）を取り上げ、その対応方法に関するマニュアルの作成を計画しております。

このため本調査では、「ハローワーク職員が困難場面に対処するため、求職者に対し、どのような対応方法をとることが考えられるのか」について職員の皆様にお伺いし、マニュアルの作成に活用することを考えております。

ご回答は、研修プログラムの開発研究のみに使用するとともに、個人名などプライバシーに関わることを外部に漏らすようなことは一切ございません。

お忙しい中、大変恐縮でございますが、アンケートの趣旨をご理解いただき、何卒、ご協力をお願い申し上げます。

なお、困難場面については、困難場面の実態調査（平成 20 年度実施）の分析により 12 場面に整理した上で、ご回答の負担及び統計学的な観点から、1 人当たり任意の 3 場面の調査票を作成しました。このため、ご回答いただく困難場面の内容は、調査票ごとに異なるものとなっておりますことを申し添えます。

*調査への回答にあたり、不明な点がございましたら、お手数ですが、下記の連絡先にお問い合わせください。

【連絡先】

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 労働大学校
キャリアガイダンス部門 西村公子、榎野（かやの） 潤
〒351-0023 埼玉県朝霞市溝沼 1983 番地の 2
電話：(048)463-1581(内線番号 513)
FAX：(048)463-1375 E-mail：jkaya@jilgo.jp

Q1. 次のページから、場面1～場面3の3つの困難場面を提示し、「ハローワーク職員が困難場面に対処するため、求職者に対し、どのような対応方法をとることが考えられるのか」について、お伺いします。その際、次の①から⑨の対応方法について、それぞれの困難場面での対応方法として、どの程度、あてはまるかを検討していただきます。

- ①求職者の話をじっくりと聞く姿勢で臨む。
- ②利用できる制度・サービスや関係団体の情報を提供する。
- ③雇用情勢や労働条件など地域の労働市場の情報を提供する。
- ④求職者に合った仕事・働き方や求人提案する。
- ⑤求職者と一緒に求人内容・応募状況等の求人情報を確認する。
- ⑥求人者に問い合わせて、聞き取った内容を求職者に伝える。
- ⑦求職者にとって必要な情報の探し方を助言する。
- ⑧家族・知人等の第三者に意見を聞くように助言する。
- ⑨求職者のものの見方や考え方を変えるように助言する。

*①～⑨の対応方法は、職業相談の困難場面の実態調査（平成20年度実施）により、職員の皆様から提供していただいた135の職業相談の困難事例を整理して作成したものです。
 *①～⑨の対応方法以外に思い浮かぶ対応方法については、自由記述(p.6)のところに、ご記入ください。

Q1-1からQ1-3は次の手順でご回答ください。

- ア. 質問項目について、「あてはまらない」もしくは「あてはまる」のいずれかを決めます。
- イ. あてはまらない場合、「あてはまらない(0)」か「ややあてはまらない(1)」の2段階で回答します。
- ウ. あてはまる場合、「ややあてはまる(2)」、「あてはまる(3)」、「とてもあてはまる(4)」の3段階で回答します。

<記入例>

あてはまらない		あてはまる		
あてはまらない	あややあてはまらない	あややあてはまる	あてはまる	あとてもあてはまる
0	1	2	3	4

リンゴはミカンよりおいしいと思う。・・・ 0—1—2—3—4

Q1-1：場面1

ハローワークの職業相談において、次のような場面をイメージしてください。

求人者の学歴要件に達しない求職者が応募を希望する

このような職業相談の場面に、ハローワーク職員が対処するため、求職者に対し、どのような対応方法をとることが考えられますか。①から⑨の対応方法のそれぞれについて、「あてはまらない」もしくは「あてはまる」のいずれかを決めてから、あてはまらない場合は0～1のなかから、あてはまる場合は2～4のなかから、番号に一つ〇をつけてください。

	あてはまらない		あてはまる		
	あては まら ない	あや や は ま ら ない	あや や は ま る	あて は ま る	あて は ま る
① 求職者の話をじっくりと聞く姿勢で臨む。・・・	0	1	2	3	4
② 利用できる制度・サービスや関係団体の情報を提供する。・・・	0	1	2	3	4
③ 雇用情勢や労働条件など地域の労働市場の情報を提供する。・・・	0	1	2	3	4
④ 求職者に合った仕事・働き方や求人を提案する。・・・	0	1	2	3	4
⑤ 求職者と一緒に求人内容・応募状況等の求人情報を確認する。・・・	0	1	2	3	4
⑥ 求人者に問い合わせて、聞き取った内容を求職者に伝える。・・・	0	1	2	3	4
⑦ 求職者にとって必要な情報の探し方を助言する。・・・	0	1	2	3	4
⑧ 家族・知人等の第三者に意見を聞くように助言する。・・・	0	1	2	3	4
⑨ 求職者のものの見方や考え方をえるように助言する。・・・	0	1	2	3	4

Q1-2：場面2

ハローワークの職業相談において、次のような場面をイメージしてください。

求職者から求人企業の対応の悪さについて苦情を言われる

このような職業相談の場面に、ハローワーク職員が対処するため、求職者に対し、どのような対応方法をとることが考えられますか。①から⑨の対応方法のそれぞれについて、「あてはまらない」もしくは「あてはまる」のいずれかを決めてから、あてはまらない場合は0～1のなかから、あてはまる場合は2～4のなかから、番号に一つ〇をつけてください。

	あてはまらない		あてはまる		
	あては まら ない	あや や は ま ら ない	あや や は ま る	あて は ま る	あて は ま る
① 求職者の話をじっくりと聞く姿勢で臨む。	0	1	2	3	4
② 利用できる制度・サービスや関係団体の情報を提供する。	0	1	2	3	4
③ 雇用情勢や労働条件など地域の労働市場の情報を提供する。	0	1	2	3	4
④ 求職者に合った仕事・働き方や求人を提案する。	0	1	2	3	4
⑤ 求職者と一緒に求人内容・応募状況等の求人情報を確認する。	0	1	2	3	4
⑥ 求人者に問い合わせて、聞き取った内容を求職者に伝える。	0	1	2	3	4
⑦ 求職者にとって必要な情報の探し方を助言する。	0	1	2	3	4
⑧ 家族・知人等の第三者に意見を聞くように助言する。	0	1	2	3	4
⑨ 求職者のものの見方や考え方をえるように助言する。	0	1	2	3	4

Q1-3：場面3

ハローワークの職業相談において、次のような場面をイメージしてください。

求職者がどんな仕事をしたらいいのかわからない

このような職業相談の場面に、ハローワーク職員が対処するため、求職者に対し、どのような対応方法をとることが考えられますか。①から⑨の対応方法のそれぞれについて、「あてはまらない」もしくは「あてはまる」のいずれかを決めてから、あてはまらない場合は0～1のなかから、あてはまる場合は2～4のなかから、番号に一つ〇をつけてください。

	あてはまらない		あてはまる		
	あては まら ない	あや や は ま ら ない	あや や は ま る	あて は ま る	あて は ま る
① 求職者の話をじっくりと聞く姿勢で臨む。・・・	0	1	2	3	4
② 利用できる制度・サービスや関係団体の情報を提供する。・・・	0	1	2	3	4
③ 雇用情勢や労働条件など地域の労働市場の情報を提供する。・・・	0	1	2	3	4
④ 求職者に合った仕事・働き方や求人を提案する。・・・	0	1	2	3	4
⑤ 求職者と一緒に求人内容・応募状況等の求人情報を確認する。・・・	0	1	2	3	4
⑥ 求人者に問い合わせて、聞き取った内容を求職者に伝える。・・・	0	1	2	3	4
⑦ 求職者にとって必要な情報の探し方を助言する。・・・	0	1	2	3	4
⑧ 家族・知人等の第三者に意見を聞くように助言する。・・・	0	1	2	3	4
⑨ 求職者のものの見方や考え方をえるように助言する。・・・	0	1	2	3	4

Q2：あなた自身について教えてください。

回答は質問に応じて、選択肢の番号に○をつけてください。

(1)性別

1 男性 2 女性

(2)年齢

1 20代 2 30代 3 40代 4 50代

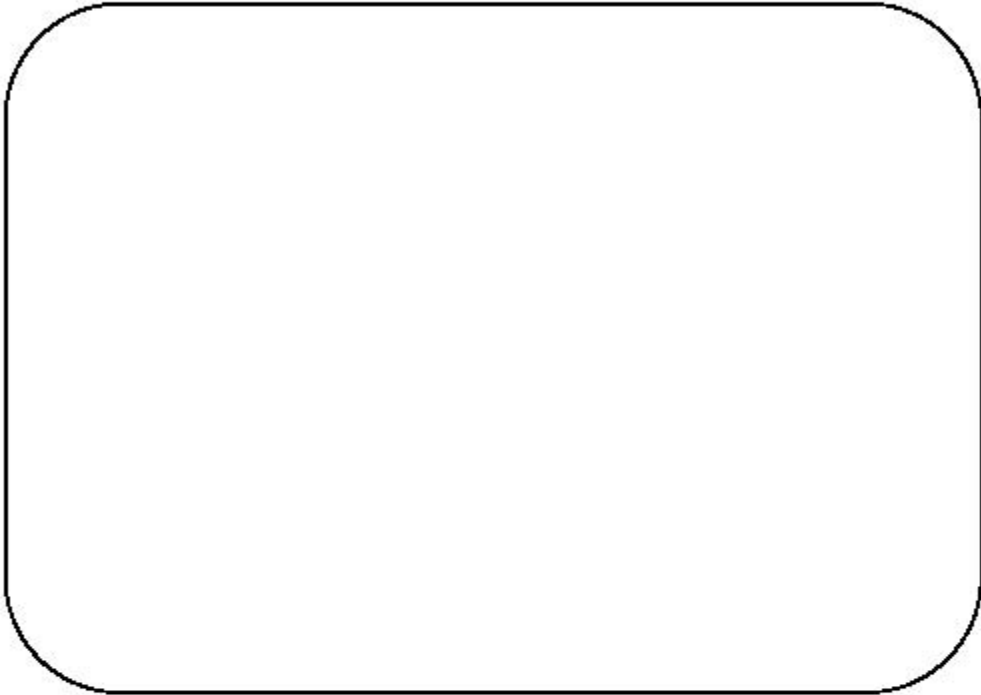
(3)現在の時点で、職業相談業務（高齢者、障害者を含む）の経験は、通算してどのくらいになりますか。

1 経験なし
 2 1年未満
 3 1年以上～3年未満
 4 3年以上～5年未満
 5 5年以上～7年未満
 6 7年以上～10年未満
 7 10年以上

Q1とQ2で記入漏れがないかお確かめください。

自由記述：

①～⑨の質問項目の対応方法以外に、思い浮かぶ対応方法がございましたら、その場面の番号（場面1、場面2、場面3）と思い浮かんだ対応方法をご記入ください。



— ご協力ありがとうございました。 —

〇〇〇〇年〇月〇〇日 (〇)
発：〇〇労働局

「職業相談コミュニケーションを活用した困難場面への対応技法」 研修についてのアンケート

＜アンケート協力へのお礼＞

(独)労働政策研究・研修機構では、厚生労働省職業安定局と連携を取りながら、職業相談コミュニケーションを活用した本研修プログラムの開発研究に取り組んでいます。アンケートの提出によりご提供頂いた情報は、本研修プログラムの開発研究のみに使用するとともに、個人名などプライバシーに関わることを外部に漏らすようなことは一切ございません。本研修プログラムをよりよいものにするため、何卒、ご協力をお願い致します。

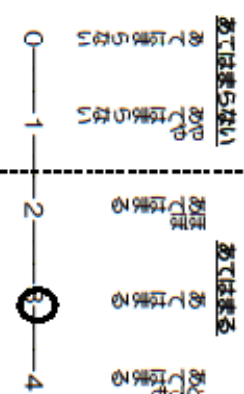
独立行政法人 労働政策研究・研修機構 労働大学校 キヤリアカインダンス部門 権野 (かやの) 潤
住所：〒351-0023 埼玉県朝霞市溝沼 1983 番地の2
電話：(048) 463-1581 (内線番号 513) FAX：(048) 463-1375 E-mail：jkaya@rl.go.jp

＜回答上の注意＞

1. 回答は質問に応じて、選択肢の番号に○をつけるか空欄に数字をご記入ください。
2. アンケートのQ2とQ3では本研修プログラムについて評価して頂きます。評価の手順は次の通りです。
 - ①質問項目について、「あてはまらない」もしくは「あてはまる」のいずれかを決めます。
 - ②あてはまらない場合、「あてはまらない(0)」か「ややあてはまらない(1)」の2段階で評価します。
 - ③あてはまる場合、「ほぼあてはまる(2)」、「あてはまる(3)」、「とてもあてはまる(4)」の3段階で評価します。

＜回答例＞

リンクはミカンよりおいしいと思う。



Q1. あなた自身のことについて

ア) 性別について教えてください。

1. 男性 2. 女性

イ) 年齢について教えてください。

1. 10代	2. 20代	3. 30代
4. 40代	5. 50代	6. 60代以上

ウ) 現在、職業相談業務（高齢者、障害者を含む）を担当されていますか。

1. はい 2. いいえ

エ) 現在の時点で、職業相談業務（高齢者、障害者を含む）の通算年数は何年ですか。

※経験がない場合、0年0ヶ月とご記入ください。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	<input type="text"/>	ヶ月
----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	----

オ) グループワークの際、あなたが所属されたグループの人数について教えてください。

<input type="text"/>	<input type="text"/>	人
----------------------	----------------------	---

※あなた自身もグループの人数に含まれます。

カ) 勤務形態について教えてください。

1. 常勤 2. 非常勤

Q2. グループワークの評価

次のグループワークに関する質問項目について、まず「あてはまらない」もしくは「あてはまる」のいずれかを決め、ついであてはまらない場合は0～1のなかから、あてはまる場合は2～4のなかから、番号に一つ0をつけてください。

	あてはまらない		あてはまる	
	あてはまらない	あてはまらない	あてはまる	あてはまる
ア) グループにおいてリラックスして話し合える雰囲気が出ていた。	0—1	1—2	2—3	3—4
イ) グループにおいて研修プログラムの目標や流れが理解されていた。	0—1	1—2	2—3	3—4
ウ) グループにおいて、対応の難しい相談場面に対処するためのアイデアが活発に話し合われていた。	0—1	1—2	2—3	3—4
エ) グループワークでは、決められた時間のなかで、ほとんど全員が話すことができていた。	0—1	1—2	2—3	3—4
オ) 今後の抱負についてグループ全員で分かち合うことができていた。	0—1	1—2	2—3	3—4

Q3. 研修プログラムの評価

本研修プログラムを受ける前と受けた後（＝現在）のあなたの考えについて比較してください。「受ける前」と「現在」のそれぞれの時点において、次の質問項目について、まず「あてはまらない」もしくは「あてはまる」のいずれかを決め、ついであてはまらない場合は0～1の間から、あてはまる場合は2～4の間から、番号に「-」をつけてください。「受ける前」については、現在の時点からふり返ってお答えください。

受ける前		現在	
あてはまらない	あてはまる	あてはまらない	あてはまる
あてはまらない	あてはまる	あてはまらない	あてはまる
0—1	2—3—4	0—1	2—3—4
あてはまらない	あてはまる	あてはまらない	あてはまる
0—1	2—3—4	0—1	2—3—4
あてはまらない	あてはまる	あてはまらない	あてはまる
0—1	2—3—4	0—1	2—3—4

ア) 再現された対応の難しい相談場面において、どのように対処すればよいのかをイメージすることができる。

イ) 職員同士で対応の難しい相談場面について話し合うことにより、相談をよりよくすることができる。

ウ) 職員同士で対応の難しい相談場面について話し合うことにより、組織としてノウハウを蓄積することができる。

04. 職業相談シミュレーションでの役割

職業相談シミュレーションでの役割を教えてください。あてはまる番号に○をつけてください。

- | | |
|---------|---------|
| 1. 進行役 | 4. 求人者役 |
| 2. 職員役 | 5. 録音係 |
| 3. 求職者役 | 6. 観察者役 |

05. 研修プログラムの感想

本研修プログラムの感想について、自由にご記入ください。

_____ **ご協力ありがとうございました。**